

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	神恵内村脱炭素社会推進事業	
補助事業者名	神恵内村長 高橋 昌幸	
補助事業の概要	① 地中熱等再生可能エネルギーを活用した温泉施設に係る実施設計 ② 神恵内村脱炭素社会推進重点プロジェクト等推進調査 ③ 神恵内村脱炭素社会普及啓発事業	
総事業費	58,205,975円	
補助金充当額	58,205,975円	
定量的目標	・神恵内村脱炭素社会推進戦略重点プロジェクトの実施 ➡先行的に取り組むプロジェクトの実践 2つ ➡その他、重点プロジェクトに向けた検討 2つ ・リビングラボの実施（継続的实施） 5回	
補助事業の成果及び評価	① 本実施設計業務が村民待望の地域コミュニティの場として、観光振興の拠点として温泉施設の早期整備に大きく寄与するとともに再エネ導入によるエネルギーコスト削減により安定した経営が期待できる。 ② 実施設計と並行して進めた本戦略における温泉施設の位置付けや活用方針の検討において有意義な知見が得られた。また、次期総合戦略である本戦略の後期実施計画の策定にあたり考慮すべき脱炭素視点の見せ方や協議体の構築スキームが確立した。 ③ リビングラボゲストらによる脱炭素社会推進のさらなる深化と拡大が期待できる。カーボンニュートラルキャンプは、2日間の開催で村内外から 100 名を超える来場があり、親子をターゲットとした脱炭素社会の普及と関係人口の創出・拡大につながった。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ:間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約（間接補助）の目的	温泉施設新築工事実施設計業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	日本都市設計株式会社 代表取締役 武部 幸紀
	契約金額（間接補助金額）	30,360,000円
	契約（間接補助）の目的	神恵内村脱炭素社会推進重点プロジェクト等推進調査業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社 富士通総研 代表取締役 石塚 康成
	契約金額（間接補助金額）	13,750,000円

	契約（間接補助）の目的	神恵内村脱炭素社会普及啓発事業実施業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社 キットブルー 代表取締役 大塚 英治
	契約金額（間接補助金額）	13,849,000円
来年度以降の事業見通し	・本年度事業の成果物である温泉施設新築実施設計を活用した温泉施設の建設（当該補助金は地中熱利用による空調及び駐車場融雪設備に活用） ・重点プロジェクト推進のため、当村に関わる民間事業者の意識調査や脱炭素社会の実現に向けた官民連携スキームの検討 ・ステークホルダーの参画による合同会議の開催 ・リビングラボの開催継続、小中学校での環境教育（出前講座）の実施など	

（備考）

- （１） 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- （２） 補助事業の成果及び評価の欄には、（１）で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- （３） 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- （４） 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。